

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-157132

(P2011-157132A)

(43) 公開日 平成23年8月18日(2011.8.18)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 83/08 (2006.01)	B 6 5 D 83/08	Z 3 E 0 3 7
B 6 5 D 25/52 (2006.01)	B 6 5 D 25/52	C 3 E 0 6 2
B 2 6 D 1/02 (2006.01)	B 2 6 D 1/02	D
B 6 5 D 85/672 (2006.01)	B 6 5 D 85/672	

審査請求 有 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2010-56673 (P2010-56673)
 (22) 出願日 平成22年2月2日 (2010.2.2)

(71) 出願人 506402779
 松枝 芳雄
 愛知県名古屋市熱田区神宮2丁目11番6号
 (72) 発明者 松枝 芳雄
 名古屋市熱田区神宮二丁目十一番六号
 Fターム(参考) 3E037 AA01 BA02 CA03
 3E062 AA01 AB13 BB02 LA01 LA17

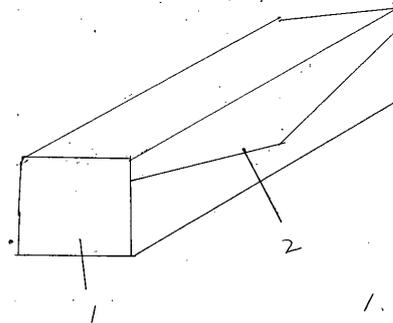
(54) 【発明の名称】 使いやすいラップの刃

(57) 【要約】

【課題】 今までのラップの刃は直線（ラップに対して）だったため切りにくかった

【解決手段】 ラップの刃をゆるやかなVの字にする事によりラップが切りやすくなり。力点が一点に集中させる事ができる。

【選択図】 図1



- 1. ラップの箱
- 2. ラップの刃
- 3. ラップ
- 4. 皿・etc.

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

従来、ラップの切り口は刃が一直線になっており、力点が一点に集まらない為大変ラップが切りにくかった。しかし本発明はラップの刃がVの字になっている為、力点が一点に集中し切りやすくなったラップの刃。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

本発明はラップの刃を直線からVの字にすることで効率的にラップが切れる様にしたものである。

【0002】

上記の事由によって親指でまん中を押さえて切るだけで、使いにくかったラップの切り方が簡単になった事。

【0003】

またラップで包む皿や茶碗は丸い物が多いのでひき出したラップの先をつけて包むやり方が比較的楽にできる。

【0004】

そして切ったラップを引き出す際にも先がとりやすいのが利点である。

【図面の簡単な説明】**【0005】**

【図1】 本発明の斜視側面図

【図2】 本発明の上面図

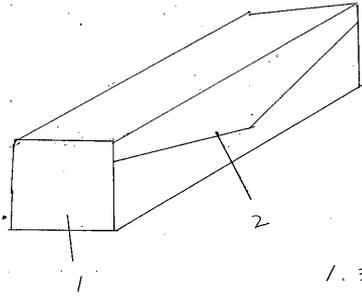
【符号の説明】**【0006】**

- 1、ラップの箱
- 2、ラップの刃
- 3、ラップ
- 4、皿、e t c、

10

20

【図1】



- 1. ラップの箱
- 2. ラップの刃
- 3. ラップ
- 4. 皿 etc.

【図2】

